

# 小地域産業連関表の作成について

---

平成31年2月21日

国土交通省北海道開発局

(名寄モデル地域圏域検討会ワーキングチーム(物流関係))

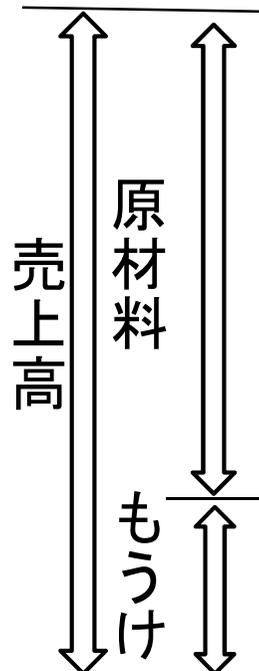
ある地域で一定期間(通常1年間)において、各産業間や家計などの消費者との間で「財・サービス」がどのように生産され、販売されたかを金額で一覧表にしたものです。

(自動車産業のみを抜粋した架空の表)

(単位:万円)

供給部門 (売り手)		需要部門 (買い手)	中間需要					最終需要	道内生産額	
			ゴム	鉄	タイヤ	車体	自動車	中間需要計		家計
中間投入	ゴム		...	...	20	...	...	20	...	20
	鉄		...	...	...	30	...	30	...	30
	タイヤ		...	...	...	...	40	40	...	40
	車体		...	...	...	...	80	80	...	80
	自動車		...	...	...	...	...	0	200	200
	中間投入計		...	...	20	30	120	170	200	370
粗付加価値	給与		10	15	10	25	40	100		
	企業利益		10	15	10	25	40	100		
道内生産額			20	30	40	80	200	370		

ヨコ・販路構成(誰に売ったか)



タテ・費用構成(原材料+もうけ)

## 現状 把握

### 1. 経済構造の把握

#### (1) 地域の経済構造

- ①産業別道内生産の状況
- ②中間需要と最終需要の状況
- ③逆行列係数を用いた産業別生産誘発構造
- ④輸移入と輸移出から域際収支

#### (2) 構造変化

- 異時点間の連関表を比較し、経済構造変化の状況を把握

## 分析

### 2. 産業連関分析

#### (3) 経済予測

- 将来の最終需要を予測し、その最終需要水準に見合う生産水準を求める

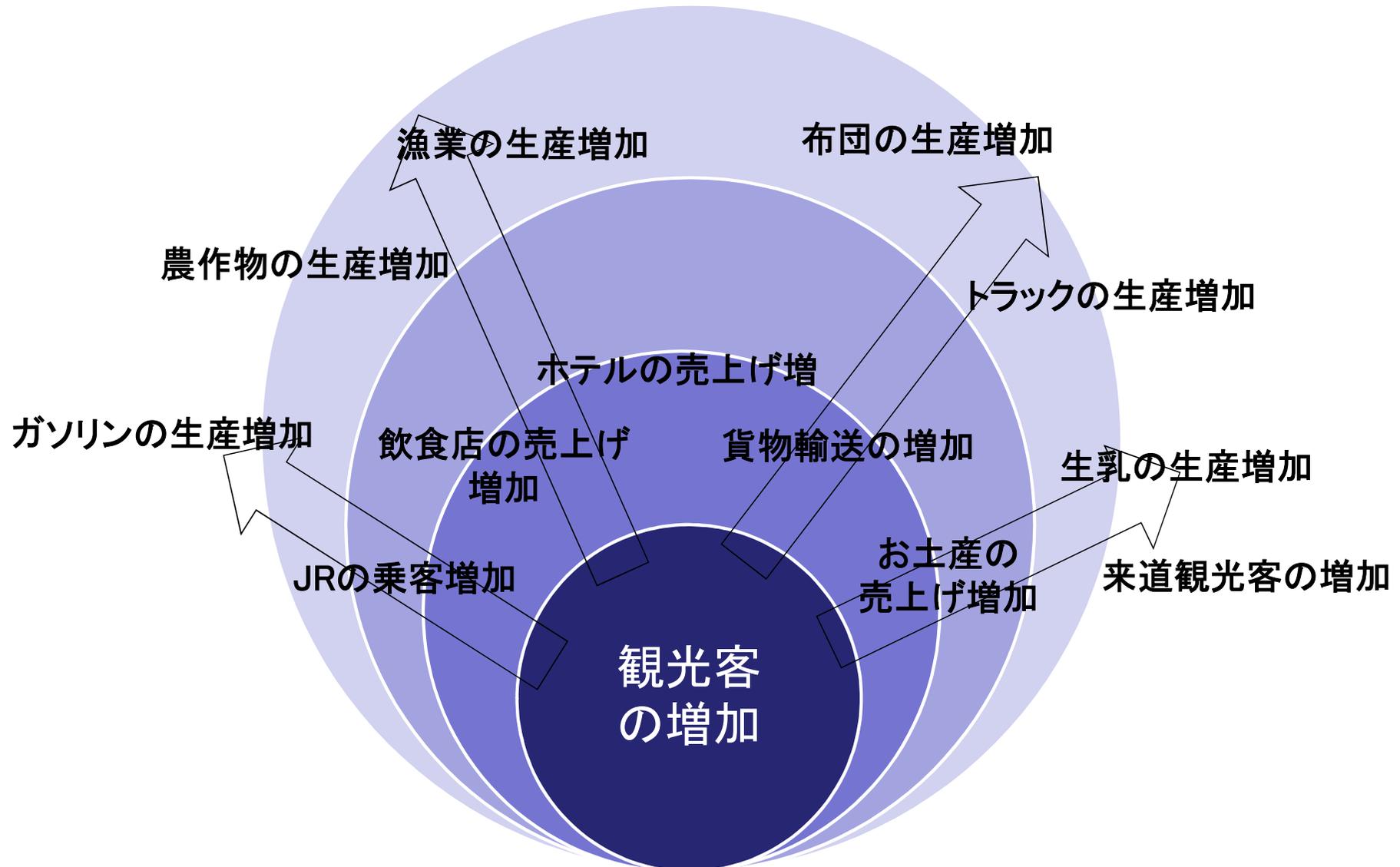
例) 計量経済モデルを組み合わせて  
中期的な経済予測を実施  
【難易度：高】

#### (4) 経済波及効果分析

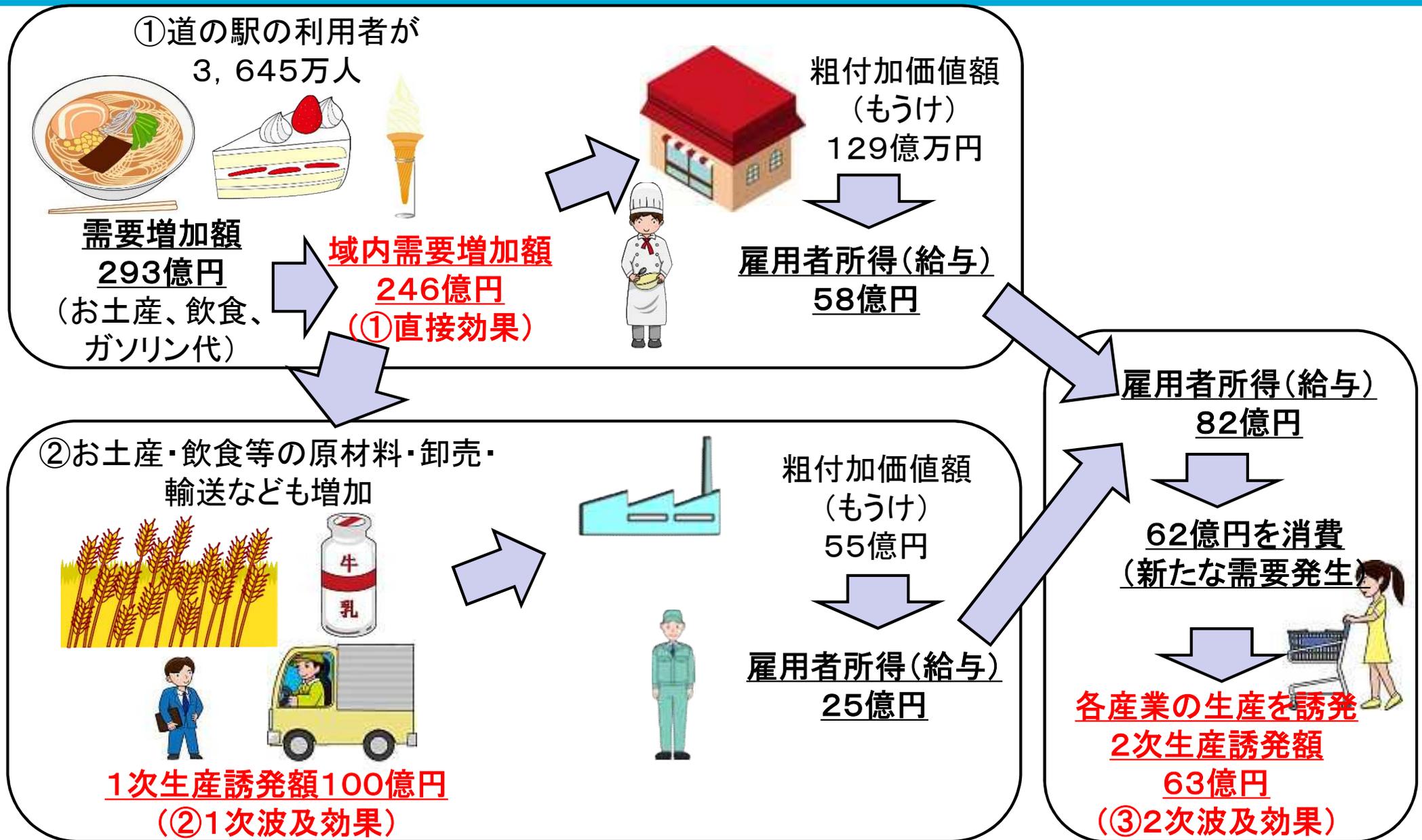
- 特定の施策が、各産業にどのような波及効果をもたらすか測定する

例 1) イベントや公共事業の波及効果  
例 2) 原油高による価格引き上げの各産業への影響等の価格分析

経済波及効果とは、ある産業に新たな需要が生じた時に、その需要を満たすために、関連する産業への影響を、水面に投げ込まれた石が波紋を起こす様子になぞらえて、「経済波及効果」と呼びます



# 経済波及効果とは(例:道の駅)



需要額が293億円増加した場合、409億円(=①+②+③)の生産誘発額が発生。

経済波及効果は、1.40倍。

○北海道開発局は(一財)北海道開発協会の協力を得て、北海道総合開発計画の推進するため、北海道産業連関表を作成してきた北海道開発局の知見を活用して、北海道の強みである「食」や「観光」を支えている「生産空間」の維持・発展(※1)等に資することを目的に、「小地域産業連関表作成研究会」を立ち上げました。

※1:「生産空間」の維持・発展:第8期北海道総合開発計画(平成28年3月閣議決定)の主要施策であり、農業・漁業に係る生産の場かつ、観光その他の多面的・公益的機能を提供している場である生産空間を維持・発展すること。

○「小地域産業連関表」は、市町村などの対象地域における1年間の経済活動を、財・サービスの取引関係からまとめたもので、これを活用すると、生産空間を支えるための施策や取組の効果を検証することや、その結果を非常にわかりやすく対象地域の方々などへ提供することが可能となります。

○このため、研究会では、地方自治体職員等が「産業連関表」を自ら作成し、施策の効果を検証出来るマニュアルやツールを作成することにより、産業連関表の利活用促進にも取り組むこととしています。

○第1回の研究会では、小地域産業連関表作成の基本方針が議論され、当面は、生産空間のモデル地域の一つである名寄市を対象として、小地域産業連関表の作成や関連調査などを行うことになりました。

## □小地域産業連関表作成研究会構成員

- ・(一社)地域研究工房 代表理事 小磯 修二 氏
- ・奈良県立大学 地域創造学部 教授 下山 朗 氏
- ・北海道 ・札幌市 ・名寄市
- ・(株)北海道二十一世紀総合研究所
- ・(一財)北海道開発協会 ・国土交通省 北海道開発局

## □主なスケジュール(予定)

- 平成30年度 名寄市産業連関表作成のための現地調査等
- 平成31年度 名寄市産業連関表の作成  
名寄市産業連関表の検証とマニュアル化に向けた検討等
- 平成32年度 小地域産業連関表作成ツールの作成  
経済波及効果算出マニュアルの作成 等

## □検討内容(予定)

- ・小地域産業連関表作成ツール・マニュアル作成にあたっての課題の検討、整理
- ・名寄市産業連関表の作成・分析
- ・名寄市の経済波及効果、消費動向等の調査・分析
- ・小地域産業連関表作成ツール・マニュアルの作成
- ・経済波及効果算出マニュアルの作成、効果的な活用方法の検討

第1回研究会(平成31年1月9日)の様子



◆ 生産空間のモデル地域の一つである名寄周辺モデル地域圏域検討会は、施策パッケージ(第1版)をとりまとめ、**スポーツ・観光・物流の分野について重点的に**施策を推進することとしている。

名寄周辺地域生産空間

## 重点施策決定(H30.4)

広域的な連携による**スポーツ**強化団体受入体制の構築

日本版DMOの登録も視野に入れた広域的な連携による**観光**振興

効率的な**物流**システムの構築

## ワーキングチームによる具体方策の検討 (現在~H31夏頃)

1. 恵まれた自然環境、充実した冬季スポーツ施設等の強みを生かし、スポーツを核とした地域づくりを進める上での**広域連携の具体的な方策**を検討する。
2. スポーツによる地域振興の中心的な役割を担う組織として、**経営感覚を兼ね備えた官民連携による「地域連携スポーツコミッション」**の設立の可能性を検討する。

・広域連携の具体策・連携範囲、スポーツコミッションで扱う具体分野等を複数検討

- ①○○○
- ②△△△
- ③□□□

## 取組方針決定(H31秋頃)

- ・具体策の絞り込み・決定  
②△△△
- ・多様な関係者の合意形成
- ・対外公表 等

議論の方向性のヒント

- ・宿泊者は、複数施設の利用、外食にニーズあり
- ・消費単価が高いのは中国からの合宿者 等

具体策の絞り込みの判断材料の一助として活用

市民・議会、周辺市町村等への説明に活用

スポーツの活用イメージ(例)

### 現状把握

- スポーツ合宿での宿泊者数が増加傾向
- 冬季スポーツ用の施設(スキー場、ジャンプ台等)は充実
- スポーツ合宿等の誘致を目指す市町村は、道内にも存在

### 現状分析(H31春頃)

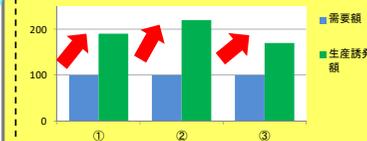
#### 宿泊客、来訪者等の消費動向調査

- ・宿泊者の目的別(スポーツ合宿・観光)、来訪者別(道内・道外・海外)の消費動向
- ・宿泊者のニーズ把握
- ・イベント参加者の宿泊動向(日帰り、市内宿泊、市外宿泊)
- ・地元(圏内)産の使用率などを分析

### 具体策の分析(H31夏頃)

#### 名寄市産業連関表

・具体策(案)などの経済波及効果を算定し、比較・検証。



### 見える化

○スポーツ合宿等の経済波及効果(宿泊業に限らず、他産業への波及度合いを見える化)

